

2026年12月期 第1四半期決算短信〔SFRS(I)及びIFRS〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 YCPホールディングス(グローバル)リミテッド 上場取引所 東
 コード番号 9257 URL https://corporate.ycp.com
 代表者 (役職名)取締役兼グループCEO (氏名)石田 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名)IRグループ (氏名)中村 哲朗 (TEL) 03-6804-3225
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無:有
 四半期決算説明会開催の有無:有(機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2026年3月31日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売相場場の仲値に基づき1米ドル=159.93円で換算された金額であります。

(1) 連結経営成績(累計) (単位:千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
2026年12月期 第1四半期	31,096 (4,973)	34.6%	456 (73)	△61.5%	337 (54)	△65.5%	△392 (△63)	-	△452 (△72)	-	△1,199 (△192)	-
2025年12月期 第1四半期	23,100 (3,694)	10.4%	1,183 (189)	10.4%	977 (156)	△1.6%	460 (74)	△60.9%	394 (63)	△64.6%	3,305 (529)	-

(単位:米ドル(円))

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年12月期 第1四半期	△0.02 (△3.24)	△0.02 (△3.20)
2025年12月期 第1四半期	0.02 (2.82)	0.02 (2.80)

(2) 連結財政状態

(単位:千米ドル(百万円))

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
2026年12月期 第1四半期	155,039 (24,795)	93,087 (14,887)	91,765 (14,676)	59.2%
2025年12月期	163,466 (26,143)	93,864 (15,012)	92,844 (14,849)	56.8%

2. 配当の状況

(単位:米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年12月期	-	0.02 (3.20)	-	0.07 (11.20)	0.09 (14.39)
2026年12月期	-	-	-	-	-
2026年12月期(予想)	-	0.04 (6.40)	-	0.08 (12.79)	0.12 (19.19)

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(単位:千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益(米ドル、円)	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
通期	129,412 (20,697)	22.4%	8,537 (1,365)	7.5%	8,451 (1,352)	17.0%	5,458 (873)	30.4%	5,458 (873)	36.4%	0.24 (39.05)	36.1%

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ①SFRS (I) 及びIFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 Q1	22,349,092 株	2025年12月期	22,349,092 株
②期末自己株式数	2026年12月期 Q1	- 株	2025年12月期	- 株
③期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 Q1	22,349,092 株	2025年12月期 Q1	22,291,225 株

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	4
（3）キャッシュ・フローの状況	4
（4）連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
（1）要約四半期連結損益及び包括利益計算書	6
（2）要約四半期連結財政状態計算書	7
（3）要約四半期連結持分変動計算書	8
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（セグメント情報）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益が31,096千米ドル（4,973百万円）と前年同期に比べ7,996千米ドル（1,279百万円、34.6%）の増収となりました。一方で、事業拡大を見据えた採用関連費用、投資検討に係る外部アドバイザー費用、及びプロフェッショナルソリューション事業の一部領域における収益性改善施策に関する費用の計上により、一般管理費が前年同期に比べ3,569千米ドル（571百万円）増加した結果、営業利益は456千米ドル（73百万円）と前年同期に比べ727千米ドル（116百万円、61.5%）の減益となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は452千米ドル（72百万円）の損失（前年同期は394千米ドル（63百万円）の利益）、四半期包括利益は、中東情勢の緊迫化等により円安が一段と進行した影響で、税引後その他の四半期包括利益として807千米ドル（129百万円）の損失を計上した結果、1,199千米ドル（192百万円）の損失となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下の通りです。

(マネジメントサービス事業)

マネジメントサービス事業は、当社グループの中核事業として、M&AやDX導入などの企業変革実現に向けた現場常駐型（PMO型）での経営支援サービスを国内外で展開しております。2026年3月31日現在、アジアを中心とする世界24拠点で、プロフェッショナルソリューション事業と合算して約700名のプロフェッショナルが従事しております。

当事業においては、主要な地域の中で、案件獲得が順調に進展した日本地域で1,384千米ドル（221百万円、44.7%）の増収、2024年4月に買収したShenkuo Business Partners Limitedの貢献が大きかったグレーターチャイナ地域で321千米ドル（51百万円、27.1%）の増収、リーダーシップ強化が奏功した東南アジア地域で186千米ドル（30百万円、7.7%）の増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は11,732千米ドル（1,876百万円、前年同期は10,239千米ドル（1,638百万円））（セグメント間取引含む）で増収となったものの、日本、インドを中心に各地域で来期以降の更なる事業成長を見据えた積極的な採用を実施した影響により、セグメント利益は1,106千米ドル（177百万円、前年同期は1,286千米ドル（206百万円））で減益になりました。

マネジメントサービス事業における、当第1四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

(マネジメントサービス事業における地域別売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～2026年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～2025年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	4,481	717	3,097	495
東南アジア	2,606	417	2,420	387
グレーターチャイナ	1,507	241	1,186	190
インド	2,870	459	2,860	457
欧州	440	70	541	87
北米	302	48	194	31
グループ間取引消去	△779	△125	△333	△53
合計	11,427	1,828	9,965	1,594

(参考：現地通貨の売上推移)	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～2026年3月31日)	前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～2025年3月31日)
日本（百万円）	1,083	743
グレーターチャイナ（千人民元）	14,139	10,751
インド（千インドルピー）	267,031	281,066

(注) 上記は現地法人ごとの売上収益を現地通貨で表示したものであり、各法人内に複数の事業セグメントが含まれている場合があるため、米ドル建ての地域別売上収益を単純に現地通貨に換算した数値とは一致しません。その他の地域については、原則として米ドルで計上しているか、少額のため割愛しております。

(プロフェッショナルソリューション事業)

プロフェッショナルソリューション事業は、マネジメントサービス事業を通じて集積した知見やネットワークを活用し、

特定の領域に特化した専門的なサービスを提供しております。現在は、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタラクティブソリューション、サプライチェーンソリューション、サステナビリティソリューション、オペレーショントランスフォーメーションの5領域でサービスを展開しております。

前第1四半期連結累計期間においては、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタラクティブソリューション、サプライチェーンソリューション、サステナビリティソリューションの4領域において報告を行ってりましたが、2025年10月に、企業の現場に密着しながら業務改善や生産性向上を実現する「オペレーショナル・エクセレンス・コンサルティング(OEC)」に強みを持ち、アジアを中心に欧州及び南北アメリカにおいて、エネルギーや金融、鉱業、インフラストラクチャー等の幅広いセクターで支援実績を有するルノワールグループの完全子会社化を実施したことにより、前第4四半期連結会計期間からは新たにオペレーショントランスフォーメーション領域を加えた全5領域で報告を行っております。

当事業においては、サプライチェーンソリューション領域で人員及び拠点の整理を行ってきた影響により151千米ドル（24百万円、11.7%）の減収となったものの、デジタルトランスフォーメーション領域で262千米ドル（42百万円、14.4%）、インタラクティブソリューション領域で202千米ドル（32百万円、26.5%）、サステナビリティソリューション領域で1,346千米ドル（215百万円、198.5%）の増収となったほか、オペレーショントランスフォーメーション領域において新たに6,323千米ドル（1,011百万円）の売上収益を創出しました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は12,393千米ドル（1,982百万円、前年同期は4,613千米ドル（738百万円））（セグメント間収益含む）となりました。一方で、オペレーショントランスフォーメーション領域で実施した収益性改善施策に係る一時的な費用を計上した影響により、セグメント損失は75千米ドル（12百万円、前年同期は785千米ドル（126百万円）の利益）となりました。

(プロフェッショナルソリューション 事業における領域別売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～2026年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～2025年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
デジタルトランスフォーメーション	2,079	332	1,817	291
インタラクティブソリューション	964	154	762	122
サプライチェーンソリューション	1,144	183	1,295	207
サステナビリティソリューション	2,024	324	678	108
オペレーショントランスフォーメーション	6,323	1,011	-	-
グループ間取引消去	△496	△79	△1	△0
合計	12,038	1,925	4,551	728

(プリンシパル投資事業)

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小/新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、ペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社LVGを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、各病院の運営が堅調に推移したことに加え、2025年7月に東京都大田区で2つの動物病院を運営する会社を取得したことにより、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で33百万円の増収、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で256千米ドル（41百万円）の増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,788千米ドル（766百万円、前年同期は4,532千米ドル（725百万円））、セグメント利益は378千米ドル（60百万円、前年同期は244千米ドル（39百万円））となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主に国内外における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、シンガポールにおける飲食事業を2025年9月に売却した影響により、前年同期比で1,257千米ドル（201百万円）の減収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は2,887千米ドル（462

百万円、前年同期は4,144千米ドル（663百万円）、セグメント利益は117千米ドル（19百万円、前年同期は61千米ドル（10百万円））となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下の通りです。

(グループの売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～2026年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～2025年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	11,732	1,876	10,239	1,638
プロフェッショナル ソリューション事業	12,393	1,982	4,613	738
プリンシパル投資事業 (内訳)	7,675	1,227	8,676	1,388
ペットケア領域	4,788	766	4,532	725
戦略投資領域	2,887	462	4,144	663
グループ間取引消去	△704	△113	△428	△68
合計	31,096	4,973	23,100	3,694

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は155,039千米ドル（24,795百万円、前連結会計年度末は163,466千米ドル（26,143百万円））となり、前連結会計年度比8,427千米ドル（1,348百万円）減少となりました。これは主に、現金及び預金が7,401千米ドル（1,184百万円）減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は61,952千米ドル（9,908百万円、前連結会計年度末は69,602千米ドル（11,131百万円））となり7,650千米ドル（1,223百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が5,111千米ドル（817百万円）減少したことによるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は93,087千米ドル（14,887百万円、前連結会計年度末は93,864千米ドル（15,012百万円））となり、前連結会計年度末比777千米ドル（124百万円）減少となりました。これは主に、在外営業活動体の換算差額778千米ドル（124百万円）によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より7,401千米ドル（1,184百万円）減少し、29,442千米ドル（4,709百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、4,877千米ドル（780百万円、前第1四半期連結累計期間は1,944千米ドル（311百万円）の減少）となりました。これは主に、営業債務以外の債務が4,616千米ドル（738百万円）減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、42千米ドル（7百万円、前第1四半期連結累計期間は959千米ドル（153百万円）の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出77千米ドル（12百万円）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、2,073千米ドル（332百万円、前第1四半期連結累計

期間は1,097千米ドル（175百万円）の減少）となりました。これは主に、借入金の返済による支出1,800千米ドル（288百万円）によるものであります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業及びプロフェッショナルソリューション事業は、引き続き為替変動等の主要なリスクを注視しつつも、2022年11月のAuctus Advisors Private Limited及び2025年10月のルノワールドグループ等のM&Aを通じた業容拡大並びにパートナー層を中心として優秀な人材の採用が着実に進展していること、プロフェッショナルソリューション事業においては各領域の事業立ち上げが順調に進捗していること、さらに、両事業の更なる業容拡大に向けて新たなM&Aを積極的に検討していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においては、重点領域であるペットケア領域が位置するマーケットは引き続き堅実な需要が見込まれることから、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。戦略投資領域については、投資先の成長フェーズに合わせて売却等を含むポートフォリオの整理を行いつつ、大きな成長が見込まれる領域については引き続き積極的な投資を続けることで着実に売上拡大を図ってまいります。

なお、当社グループの事業内容に関して、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢、ならびに各国の関税政策及び保護主義的な貿易政策による直接的な影響はグループ全体で軽微であるものの、情勢の変化によって生じうる急激な為替変動リスクについては、引き続き注視してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益及び包括利益計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～ 2026年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～ 2025年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	31,096	4,973	23,100	3,694
売上原価	△13,114	△2,097	△8,232	△1,317
売上総利益	17,982	2,876	14,868	2,378
その他の収益及び利得	△59	△9	13	2
販売費	△168	△27	△187	△30
一般管理費	△17,123	△2,738	△13,554	△2,168
その他の営業費用	△176	△28	43	7
営業利益	456	73	1,183	189
金融収益	34	5	6	1
金融費用	△119	△19	△105	△17
持分法による投資損益（△は損失）	△34	△5	△107	△17
税引前四半期利益	337	54	977	156
法人所得税費用	△729	△117	△517	△83
四半期利益（△は損失）	△392	△63	460	74
四半期利益（△は損失）の帰属：				
親会社の所有者	△452	△72	394	63
非支配持分	60	10	66	11
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益（△は損失）				
基本（米セント/円）	△2.02	△3.24	1.77	2.82
希薄化後（米セント/円）	△2.00	△3.20	1.75	2.80
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益（△は損失）：				
在外営業活動体の換算差額	△822	△131	2,813	450
持分法のその他の包括利益	15	2	32	5
税引後その他の包括利益（△は損失）	△807	△129	2,845	455
四半期包括利益（△は損失）合計	△1,199	△192	3,305	529
四半期包括利益（△は損失）の帰属：				
親会社の所有者	△1,230	△197	2,864	458
非支配持分	31	5	441	71

（2）要約四半期連結財政状態計算書

	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)		前連結会計年度 (2025年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	9,555	1,528	10,120	1,618
使用権資産	7,192	1,150	7,086	1,133
のれん	63,315	10,126	64,127	10,256
無形資産	4,416	706	4,801	768
ジョイント・ベンチャーに対する投資	120	19	153	24
関連会社に対する投資	60	10	60	10
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	6,321	1,011	6,400	1,024
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	2,521	403	2,519	403
繰延税金資産	2,128	340	2,241	358
非流動資産合計	95,628	15,294	97,507	15,594
流動資産				
棚卸資産	552	88	600	96
営業債権	19,405	3,103	19,658	3,144
契約資産	5,413	866	4,358	697
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	4,599	736	4,500	720
現金及び預金	29,442	4,709	36,843	5,892
流動資産合計	59,411	9,502	65,959	10,549
流動負債				
営業債務	3,034	485	3,408	545
営業債務以外の短期債務	28,377	4,538	33,488	5,356
有利子負債	4,075	652	4,945	791
リース負債	2,499	400	2,414	386
未払法人所得税	1,820	291	2,884	461
流動負債合計	39,805	6,366	47,139	7,539
正味流動資産	19,606	3,136	18,820	3,010
正味流動資産及び非流動資産合計	115,234	18,429	116,327	18,604
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	1,596	255	1,668	267
有利子負債	12,893	2,062	13,621	2,178
リース負債	5,038	806	4,901	784
繰延税金負債	2,032	325	2,077	332
退職給付に係る負債	588	94	196	31
非流動負債合計	22,147	3,542	22,463	3,593
純資産	93,087	14,887	93,864	15,012
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	46,731	7,474	46,731	7,474
剰余金	45,034	7,202	46,113	7,375
	91,765	14,676	92,844	14,849
非支配持分	1,322	211	1,020	163
資本合計	93,087	14,887	93,864	15,012

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計		
2026年1月1日残高	46,731 (7,474)	△1,959 (△313)	△12,740 (△2,038)	59,404 (9,500)	1,438 (230)	△30 (△5)	92,844 (14,849)	1,020 (163)	93,864 (15,012)
四半期利益	-	-	-	△452 (△72)	-	-	△452 (△72)	60 (10)	△392 (△63)
<u>その他の包括利益</u> (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△793 (△127)	-	-	-	△793 (△127)	△29 (△5)	△822 (△131)
持分法のその他の包括利益	-	-	15 (2)	-	-	-	15 (2)	-	15 (2)
四半期包括利益（△は損失）	-	-	△778 (△124)	△452 (△72)	-	-	△1,230 (△197)	31 (5)	△1,199 (△192)
合計	-	-	(△124)	(△72)	-	-	(△197)	(5)	(△192)
非支配株主からの出資	-	△50 (△8)	-	-	-	-	△50 (△8)	271 (43)	221 (35)
株式報酬費用	-	-	-	-	59 (9)	-	59 (9)	-	59 (9)
譲渡制限付株式ユニット発行 費用	-	-	-	-	142 (23)	-	142 (23)	-	142 (23)
2026年3月31日残高	46,731 (7,474)	△2,009 (△321)	△13,518 (△2,162)	58,952 (9,428)	1,639 (262)	△30 (△5)	91,765 (14,676)	1,322 (211)	93,087 (14,887)

前第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計		
2025年1月1日残高	46,478 (7,433)	△1,955 (△313)	△11,776 (△1,883)	55,806 (8,925)	1,037 (166)	△24 (△4)	89,566 (14,324)	743 (119)	90,309 (14,443)
四半期利益	-	-	-	394 (63)	-	-	394 (63)	66 (11)	460 (74)
<u>その他の包括利益</u> (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	2,438 (390)	-	-	-	2,438 (390)	375 (60)	2,813 (450)
持分法のその他の包括利益	-	-	32 (5)	-	-	-	32 (5)	-	32 (5)
四半期包括利益（△は損失）	-	-	2,470 (395)	394 (63)	-	-	2,864 (458)	441 (71)	3,305 (529)
合計	-	-	(395)	(63)	-	-	(458)	(71)	(529)
株式報酬費用	-	-	-	-	72 (12)	-	72 (12)	-	72 (12)
譲渡制限付株式ユニット発行 費用	-	-	-	-	88 (14)	-	88 (14)	-	88 (14)
譲渡制限付株式ユニットの権 利確定に伴う新株の発行	15 (2)	-	-	-	△15 (△2)	-	- (△2)	-	- (△2)
2025年3月31日残高	46,493 (7,436)	△1,955 (△313)	△9,306 (△1,488)	56,200 (8,988)	1,182 (189)	△24 (△4)	92,590 (14,808)	1,184 (189)	93,774 (14,997)

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2026年1月1日～ 2026年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2025年1月1日～ 2025年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期利益	337	54	977	156
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△34	△5	△6	△1
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損	67	11	-	-
子会社の取得に係るアーンアウト対価の調整による利得	△22	△4	-	-
減価償却費（有形固定資産）	419	67	390	62
減価償却費（使用権資産）	829	133	803	128
その他の償却費（無形資産）	294	47	205	33
棚卸資産廃棄損	-	-	0	0
有形固定資産除却損	-	-	3	0
有形固定資産売却損	18	3	-	-
リース解約益	△0	△0	△5	△1
貸倒引当金の増加額（△は戻入）	9	1	△0	△0
受取配当金	△4	△1	-	-
金融費用	119	19	105	17
持分法による投資損失	34	5	107	17
株式報酬費用	59	9	72	12
譲渡制限付株式ユニット発行費用	142	23	88	14
運転資本の変動前の				
営業キャッシュ・インフロー	2,267	363	2,739	438
運転資本の変動:				
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権の増減額（△は増加）	25	4	△673	△108
契約資産の増減額（△は増加）	△980	△157	428	68
棚卸資産の増減額（△は増加）	50	8	110	18
営業債権の増減額（△は増加）	582	93	△2,336	△374
営業債務の増減額（△は減少）	△406	△65	△394	△63
営業債務以外の債務の増減額（△は減少）	△4,616	△738	△1,587	△254
小計	△3,078	△492	△1,713	△274
法人所得税の支払額	△1,799	△288	△231	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,877	△780	△1,944	△311
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	34	5	6	1
有形固定資産の取得による支出	△77	△12	△706	△113
有形固定資産の除売却による収入	1	0	0	0
関連会社への投資による支出	-	-	△259	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△7	△959	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入による収入	313	50	711	114
借入金の返済による支出	△1,800	△288	△769	△123
リース負債の返済による支出	△688	△110	△934	△149
利息の支払額（リース負債）	△45	△7	△36	△6
利息の支払額	△74	△12	△69	△11
非支配株主による出資	221	35	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,073	△332	△1,097	△175
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,992	△1,118	△4,000	△640
現金及び現金同等物の期首残高	36,843	5,892	43,281	6,922
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△409	△65	1,260	202
現金及び現金同等物の期末残高	29,442	4,709	40,541	6,484
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	29,442	4,709	40,541	6,484

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供する「マネジメントサービス」、サプライチェーンやサステナビリティなど専門的な知見が求められる特定の領域に特化したソリューションを提供する「プロフェッショナルソリューション事業」及び中小・新興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の3事業を展開しております。また、「プリンシパル投資」においては、「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「プロフェッショナルソリューション事業」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の4つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

なお、プロフェッショナルソリューション事業については、前連結会計年度はサプライチェーンソリューション領域、デジタルトランスフォーメーション領域、インタラクティブソリューション領域及びサステナビリティソリューション領域の4領域において報告を行っていましたが、その後、2025年10月にルノワールド社を完全子会社化したことにより、前第4四半期連結会計期間からはオペレーショントランスフォーメーション領域を加えた全5領域で報告を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)

(単位：千円ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	プロフェッショナル ソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	11,427 (1,828)	12,038 (1,925)	4,788 (766)	2,843 (455)	31,096 (4,973)
セグメント間収益	305 (49)	355 (57)	- -	44 (7)	704 (113)
計	11,732 (1,876)	12,393 (1,982)	4,788 (766)	2,887 (462)	31,800 (5,086)
セグメント間収益の相殺					△704 (△113)
収益合計					31,096 (4,973)
非資金取引前セグメント損益	1,868 (299)	256 (41)	761 (122)	452 (72)	3,337 (534)
非資金取引	-	△1	△8	-	△9
貸倒引当金繰入額	-	(△0)	(△1)	-	(△1)
子会社の取得に係るアーンアウト対価の調整による利得	22 (4)	-	-	-	22 (4)
有形固定資産売却損	△18 (△3)	-	-	-	△18 (△3)
減価償却費	△421 (△67)	△177 (△28)	△333 (△53)	△317 (△51)	△1,248 (△200)
その他の償却費	△114 (△18)	△116 (△19)	△42 (△7)	△22 (△4)	△294 (△47)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損	△67 (△11)	-	-	-	△67 (△11)
受取配当金	-	-	-	4 (1)	4 (1)
リース解約益	0 (0)	-	-	-	0 (0)
株式報酬費用	△53 (△8)	△6 (△1)	-	-	△59 (△9)
譲渡制限付株式ユニット発行費用	△111 (△18)	△31 (△5)	-	-	△142 (△23)
セグメント損益	1,106 (177)	△75 (△12)	378 (60)	117 (19)	1,526 (244)
配賦不能本社費					△1,070 (△171)
営業利益					456 (73)
金融収益					34 (5)
金融費用					△119 (△19)
持分法による投資損失					△34 (△5)
税引前四半期利益					337 (54)

前第1四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年3月31日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	プロフェッショナル ソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	9,965 (1,594)	4,551 (728)	4,532 (725)	4,052 (648)	23,100 (3,694)
セグメント間収益	274 (44)	62 (10)	- -	92 (15)	428 (68)
計	10,239 (1,638)	4,613 (738)	4,532 (725)	4,144 (663)	23,528 (3,763)
セグメント間収益の相殺					△428 (△68)
収益合計					23,100 (3,694)
非資金取引前セグメント損益	1,743 (279)	921 (147)	698 (112)	570 (91)	3,932 (629)
非資金取引					
貸倒引当金戻入額	-	-	0 (0)	-	0 (0)
有形固定資産除却損	-	-	-	△3 (△0)	△3 (△0)
減価償却費	△232 (△37)	△77 (△12)	△404 (△65)	△480 (△77)	△1,193 (△191)
その他の償却費	△118 (△19)	△11 (△2)	△50 (△8)	△26 (△4)	△205 (△33)
リース解約益	5 (1)	- -	- -	- -	5 (1)
株式報酬費用	△33 (△5)	△39 (△6)	- -	- -	△72 (△12)
譲渡制限付株式ユニット発行費用	△79 (△13)	△9 (△1)	- -	- -	△88 (△14)
セグメント損益	1,286 (206)	785 (126)	244 (39)	61 (10)	2,376 (380)
配賦不能本社費					△1,193 (△191)
営業利益					1,183 (189)
金融収益					6 (1)
金融費用					△105 (△17)
持分法による投資損失					△107 (△17)
税引前四半期利益					977 (156)